

釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】の策定に向けた今年度の検討スケジュールについて

1. 釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】の検討

都心部の将来像やまちづくりの方針を示す、釧路都心部まちづくり計画【基本構想編】を踏まえた【事業構想編】の検討を進める。

※検討期間は令和元年度からの2カ年の予定とし、策定は令和2年度末を目標とする。

※**事業構想編の策定**は、鉄道事業者を含む関係機関と綿密な調整を行う必要があることから、さらなる時間を要する場合も考えられる。

2. 【事業構想編】について

【事業構想編】は、市が考える、鉄道高架、交差道路、土地区画整理の3つの柱からなる、ゲートウェイ(駅周辺)の構想となるものであり、国や北海道との協議資料となる。

アウトプットイメージ(現時点での想定)

- ・交差道路や緑地等の配置計画、駅前広場
- ・土地区画整理の計画
(想定区域、街区形成、導入する機能の明示)
- ・概算事業費の算出
- ・事業の必要性や整備効果
- ・防災機能の検討
- ・市民が参画するまちづくり活動案



3. 【事業構想編】の策定に向けた今年度の主な検討内容

【基本構想編】による都心部将来像の実現に向け、ゲートウェイ(駅周辺)のまちづくりに関する、**鉄道施設(鉄道高架)**、**交差道路**、**土地区画整理**について検討の深度化を図るとともに、有識者等から構成される協議会の助言や【基本構想編】に位置づけた各プロジェクト推進チームからの提案等を踏まえながら、【事業構想編】の策定に向けた検討を進める。

■鉄道施設(鉄道高架)

- ・都市側による、駅や高架橋の配置計画の検討

■交差道路

- ・都市側による、鉄道南北を横断する交差道路を含む、都心部及び駅周辺の交通ネットワークのあり方の検討など

■土地区画整理

- ・都市側による、ゲートウェイ(駅周辺)における将来的な駅前広場、土地利用、街区形成などについて検討し、ゲートウェイの市街地目標像を整理

4. 概略スケジュール

